

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21 年 3 月 25 日

【評価実施概要】

事業所番号	0153680046		
法人名	社会福祉法人 緑星の里		
事業所名	グループホーム ハーモニー		
所在地	苫小牧市字植苗 5 1 番地 1 5 6 (電 話) 0144-58-2245		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年3月19日	評価確定日	平成21年4月22日

【情報提供票より】 (21年 3月 6日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 4 月 15 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 13人, 非常勤 4人, 常勤換算	9.5人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート	造り
	2階建ての	1~2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 ~ 31,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費 13,500円
敷 金	有 (円) ・ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	400 円	昼食 400 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(3月6日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護 1	2 名	要介護 2	7 名
要介護 3	6 名	要介護 4	2 名
要介護 5	1 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 84.6 歳	最低 75 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	矢嶋内科医院、苫小牧東病院、道央佐藤病院
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営法人緑星の里のグループ施設が立ち並ぶ一角にグループホーム ハーモニーがあり、自然豊かな地で、高齢者、知的、身体障がい者が共に支え合う生活をしています。利用者がゆったり、のんびりと暮らすことを目標に、利用者の能力を引き出しながら生活の支援が行なわれています。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議のメンバーに市の担当者も参加いただき、地域防災など、討議内容も幅広く、それを活かした取り組みが行なわれつつあります。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ユニット毎で自己評価に取り組み、管理者が纏め上げています。このことが職員の気づき、改善に向けた取り組みに繋がることを期待します。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は年3回開催され、報告、反省、改善点などが話し合わせ、町内会、家族などが多数参加しています。今後は定期的な取り組みを期待し、市との連携についてもホームの事情を説明するなど、運営推進会議の機会を活用した取り組みを期待します。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ホーム便りの発行回数が少ないことから、今後は計画的に広報誌の発行をして、行事予定、利用者の状況、職員の異動等をお知らせすることにより、利用者の生活の場作りに家族の意見等が反映されることを期待します。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運動会学芸会、買物や散歩などで、地域の一員として、当たり前の相互交流が図れる取り組みを期待します。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「思いやりと素直な心で共に生きる家」として能力に応じて自立した生活を目指されていますが、地域密着型サービスとしての理念が未だ作られていません。	○	家庭的な環境と地域住民との交流の下で、より安心した暮らしの支援ができる理念をホームとして作られることを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	これまでの運営理念は開設以来のものでありますが、日々でのミーティングなどにも理念の話し合いが十分行なわれていません。	○	ホーム内に理念を掲示し、職員全員が理念を共有され、ケアの実践の中で活かされることを期待します。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	数名の利用者は地域の老人クラブ活動に参加し、おむつ縫い、大正琴の練習や切り絵講習に参加していますが、ほかの交流の場が不足しています。	○	近隣の小中学校の運動会、学芸会などへの見学、参加、また近隣の保育所などと積極的に交流を深めることを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の意義は理解され取り組まれています、時間的制約もあり職員全員での取り組みには至ってはいません。	○	自己評価を職員全員で取り組み、振り返りや見直しの機会にして、評価によって出されたことをミーティングで話し合うなど、改善への取り組みがされることを期待します。

苫小牧市 グループホーム ハーモニー

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、年3回開催されており、町内会会長、家族、利用者、地域包括支援センター職員、ホーム職員の出席があります。会議では運営会議の規則、外部評価の結果報告、今後の行事予定、意見交換などが行なわれています。	○	家族の方々が集まれる機会を捉えるなど、柔軟なメンバー構成と開催日を工夫され、定期的な開催への取り組みを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者とはグループホーム連絡会の総会、研修会などで定期的に意見交換がなされています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	不定期ではあるが年3回ホーム便りとして広報誌が作成され、利用者のコメント欄には、利用者の生活の様子や心身の状況が報告されています。通院の前後には必ず体調の状況、結果報告が行なわれています。	○	定期的な発行が難しい状況であれば、季刊号として発行し今後は徐々に発行回数を増やし、行事の報告や計画予定、日々の出来事など定期的に案内して、職員の異動なども含め報告されることを期待します。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎年運営法人グループ全体での家族アンケート調査が行なわれているほか、家族の意見、要望、苦情等は面会時に何うようにされています。運営法人として第三者委員会が設置され、苦情を外部の方に表せる機会が作られています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	毎年4月に運営法人グループ内での人事異動があり、職員の異動やユニットの入れ替わりがあり、その際は利用者に説明し、職員全員でダメージ緩和の取り組みを行なっていますが、家族への報告がおこなわれていない状況です。	○	利用者、家族の信頼関係を築くためにも、馴染みの職員が対応することが重要であり、利用者への影響に配慮した異動と広報誌等で家族への報告を期待します。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修は年4～5回運営法人グループの老人保健施設で行なわれ、一部の職員は参加しているが外部研修にはほとんど参加していません。	○	外部研修、内部研修も計画的に取り組み、スキルアップを図るための機会が確保されるよう期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内グループホーム連絡会への参加、研修、交流は行なわれています。交流のあるほかのグループホームから見学に来ていただいておりますが、ホーム側からは積極的に交流するまでには至っていません。	○	ほかの業者との交流を通して、勉強会、相互訪問等サービスの質の向上に活かす取り組みを期待します。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者や家族のホームへの見学や、1泊入居体験、ホーム側からは利用者の自宅や医療施設へ訪問をして、利用者と馴染みの関係作りと共に、利用者の視点に立ち家族との利用開始の調整が行なわれています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者との会話の中から知識や知恵を引き出し教えをいただきながら、ゆっくりとした支え合う関係が出来ています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	従来のライフスタイルを尊重し利用者一人ひとりに合った睡眠時間、食事提供等利用者とのやりとりの中で把握し、意思の疎通に困難をきたした時は家族に相談しながら、思いや、意向の把握に努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画はケア会議で可能な限り家族の意向も取り入れながら、職員間で検討し作成されています。	○	利用者、家族の意向を聞きながら、生活を支えるためのアセスメントを行ない、一層利用者本位の計画の取り組みとなることを期待します。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月に1回見直しがされていますが、評価、モニタリングの結果が計画書に十分反映されていない状況にあります。	○	定期的にケア会議が行なわれ検討されていますので、評価、モニタリングの結果等を介護計画の中に十分反映し、状況に応じた見直しを期待します。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助、外出支援など、家族の宿泊面会での食事提供など、柔軟な支援がなされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	病院やかかりつけ医と連携を図りながらの、医療支援が行なわれています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームとしては重度化した場合、終末期の看取りに対応するまでには至っていませんが、利用者の意思を尊重し出来る限り希望に添えるようにしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを尊重し、自然なさりげない対応がなされておりますが、利用者の居室への入室時の配慮、職員の会話で利用者へのプライバシーの配慮など欠けている面も見受けられます。面会簿等も単票形式するなど今後の取り組みに期待します。	○	会話、居室の立ち入り、面会簿等、利用者のプライバシーに配慮した取り組みを期待します。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、日々のゆったりとした暮らしの中で個別性の気づきを感じながら支援がなされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と話し合いながら、その日の状態や能力に応じた準備や、後かたづけが職員と一緒に行われています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に合わせた入浴の支援が週3回をめぐりなされていますが、重度化に対応した入浴方法や入浴をいやがる利用者への対応を検討していただきたい。	○	浴室の構造上の問題等もありますが、重度化に対応できるように対策を検討し、入浴を楽しめる改善を期待します。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりが、その日の状態や能力に応じた役割を持って、楽しみごとを把握しながら張り合いを持って生活できるよう買物、縫い物、歌、花、野菜作りの支援がされています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	売店での買物、近隣への散歩、また利用者の希望があればドライブ、外出での買物等の支援が行なわれています。	○	利用者の気分転換やストレスの発散、五感刺激の機会として、日常的な外出の支援を期待します。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ玄関は施錠されていますが、日中はチャイム、センサーを利用し見守りがされています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営法人グループ全体で、消防署、地域の方々、関係施設などと一体となった防火、避難訓練が行なわれています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量が、毎日チェック表に記録され、一人ひとりに合わせた支援がなされています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには小上がり、利用者が団欒するソファの場所もあり、また一人で過ごす場所も確保され、ゆったりとした共有空間が作られています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物、手芸、大正琴などが持ち込まれ、居心地の良い居室作りがなされています。		

※ は、重点項目。